

第5回 人は何故建築をつくるのだろうか



南洋理工大学南校舎棟「GAIA」(2023) ©中村絵



水戸市民会館(2022) ©中村絵



「茨木市文化・子育て複合施設 おにくる」(建設中)

『最近建築雑誌等を見ると、建築家は誰のために、そして何のために建築をつくっているのだろうかと思うことがしばしばです。このような疑問を皆で考えるために、この根本的なテーマを提案して意見交換をしてみたいと思います。』(伊東豊雄)

スケジュール

- 第1～4回 (2018年に実施済)
- 第5回 9/22(金) 18:30～ 人は何故建築をつくるのだろうか
- 第6回 11/24(金) 18:30～ 建築って何だろう

- 日時 2023年9月22日(金) 18:30～20:00
- 開催形式 ハイブリッド開催(リアル/Zoom)
- 会場 JIA館1F「建築家クラブ」(東京都渋谷区神宮前2-3-18)
- 参加費 リアル:1,500円 学生無料/Zoom:無料
- 募集人数 リアル:30人/Zoom:300名 400人
- 参加方法 参加ご希望の方は、下記アドレス又はQRコードにてアクセスし、必要事項を入力しお申し込みください。
<https://goo.gl/mKpT3V>
※締切:9月21日24:00(定員になり次第受付終了とさせていただきます。)
- 主催 JIA関東甲信越支部 金曜の会
- CPD 2単位
- 協賛 (株)建築家会館



■講師プロフィール

伊東 豊雄 (いとう とよお)

<略歴>

- 1941 京城市（現・ソウル市）生まれ。父の郷里の長野県下諏訪町で育つ
- 1965 東京大学工学部建築学科卒業
- 1965～1969 菊竹清訓建築設計事務所勤務
- 1971 株式会社アーバンロボット（URBOT）設立
- 1979 事務所名を株式会社伊東豊雄建築設計事務所に改称
- 2005～ くまもとアートポリスコミッショナー

<主な作品>

- 1984 シルバーハット（東京）
- 1997 大館樹海ドーム（秋田）
- 2001 せんだいメディアテーク（宮城）
- 2004 まつもと市民芸術館（長野）
TOD'S 表参道ビル（東京）
- 2007 多摩美術大学図書館（八王子キャンパス）（東京）
- 2008 座・高円寺（東京）
- 2013 台湾大学社会科学部棟（台湾）
- 2015 みんなの森 ぎふメディアコスモス（岐阜）
- 2016 バロック・インターナショナルミュージアム・プエブラ（メキシコ）
台中国家歌劇院（台湾）
- 2022 水戸市民会館（茨城）

<主な著書>

- 1989 「風の変様体」（青土社）
- 2000 「透層する建築」（青土社）
- 2012 「建築の大転換」 中沢新一共著（筑摩書房）
「あの日からの建築」（集英社新書）
- 2016 「建築」で日本を変える（集英社新書）
「日本語の建築」（PHP 新書）
- 2020 「伊東豊雄 自選作品集 身体で建築を考える」（平凡社）

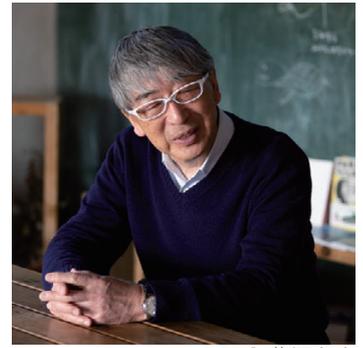
<主な受賞>

- 1986 日本建築学会賞作品賞（シルバーハット）
- 2002 ヴェネツィア・ビエンナーレ「金獅子賞」（生涯業績部門）
- 2003 日本建築学会賞作品賞（せんだいメディアテーク）
- 2006 王立英国建築家協会（RIBA）ロイヤルゴールドメダル
- 2010 高松宮殿下記念世界文化賞
- 2012 ヴェネツィア・ビエンナーレ「金獅子賞」（コミッショナーを務めた日本館が受賞）
- 2013 プリツカー建築賞
- 2016 日本建築学会大賞
- 2017 UIA ゴールドメダル

<近年の活動>

東日本大震災後、住民の憩いの場として提案した「みんなの家」は、16軒完成。2016年の熊本地震に際しては、くまもとアートポリスのコミッショナーとして「みんなの家のある仮設住宅」づくりを進め、各地に90棟以上が整備された。

2011年に私塾「伊東建築塾」を設立。これからのまちや建築のあり方を考える場として様々な活動を行っている。また、自身のミュージアムが建つ愛媛県今治市大三島においては、塾生有志や地域の人々とともに継続的なまちづくりの活動に取り組んでいる。



© 藤塚光政



© 宮城県観光課



© 中村絵

